

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		農業基盤改修助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000847
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興				主要事業		グループ	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名	01 農林業の振興				未来PJ事業		農林G	
	手段名	02 ②農業の効率化推進				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	05	02	00	農地関係事業		
法令根拠						桜川市土地改良事業補助金交付規程			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						単年度繰返し (昭和35年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	・農業基盤の適切な維持及び安定した農業経営に寄与するために、市内で実施される土地改良事業等に対し、予算の範囲内において助成する事業。		①事業実施者からの申請受付 ②補助金交付の適否決定及び決定通知の発送 ③補助金交付請求及び実績報告の受付 ④補助金の交付	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
・受益者負担工事 (実施主体：桜川市) とのバランスを考えながら事務を行う。							修繕事業の申請件数		件	13.00	10.00	10.00	10.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市内に住所を有する土地改良区又は共同施行者							行政区		件	120.00	120.00	120.00	120.00	0.00
							土地改良区		件	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
							水利組合		件	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
地域住民による農業用施設や農業地域内の公共施設の自主的な維持管理を促す。							実施率=支出件数/申請件数			100.00	100.00	100.00	100.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,161	2,553	3,000	3,000
	事業費計 (A)	千円	3,161	2,553	3,000	3,000		
人件費	正規職員従事人数		人	1.00人	1.00人	1.00人		
	述べ業務時間		時間	200.00	200.00	200.00		
	人件費計 (B)		千円	585	585	585		
トータルコスト (A)+(B)			千円	3,746	3,138	3,585		

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)				30年度事業費 予算 (千円)			
	19 負担金補助及び交付金	2,553			19 負担金補助及び交付金	3,000		
			合計	2,553		合計	3,000	

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容		32年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	農業基盤改修助成事業	事務事業No.	40102000847	所属課	農林課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	昭和35年に、土地改良事業補助金交付規程が施行され、受益者が使用する公共財産の維持管理を自ら行い、その経費の一部について補助することを目的として開始された。本事業は、旧岩瀬町のみで実施されていた事業で、合併後桜川市に引き継がれた。平成26年度には桜川市土地改良事業補助金交付規程を全部改正し、主に補助金交付の手続きについて明確化した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	補助を受けている団体からは感謝の声があがっている。一方、年度によって予算の都合により申請を受けられないものもあったことに対し、「補正等で対応して欲しい」という意見もあった。地区によっては「100%補助して欲しい」等の意見もあがっている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	市と桜川市土地改良区との関係性が一部曖昧であり、本事業や受益者負担工事について不都合を生じる場合もある。
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 自主的な修繕を行う事で、施設としての機能が正常に保たれ(適正に管理される)、農山村の振興に結び付く。
②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 用排水路等は市の財産である。また、水路等の公共施設は農地に欠かせない施設であるだけでなく、地域周辺の生活又は防災施設当の役割も担っているため、公共の関与が必要だと思われる。
③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、申請のあった全ての団体に助成しているが、申請内容が用水に関連する事業が多い。申請団体等に対し、適切な維持管理について指導していくことで、成果の向上余地が見込める。
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 管理が不適切なまま放置され、災害や事故が多く発生する事態を招きかねないと思われる。
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 農業基盤改修のための事業がない。
⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現状最低限であるためこれ以上削減できない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 補助率を見直したことで、公平性が保たれている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性については見直し余地のあるものの、事業実施者への監督及び指導の機会を増やす必要が生じ、人件費の増加も考えられる。対象施設の老朽化に伴い、申請額の高額化も想定されるので、受益者負担工事との関連性を保ちながら、バランスのとれた事業推進が求められる。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認